

近年の水質異常の状況等

年月	事象	処置・対応	課題 (課題に対する対応)
平成 20 年 2 月 12 日	保呂羽浄水場にて濁水事故発生	上下水道部ホームページ 重要なお知らせ参照	
平成 21 年 10 月	台風 18 号の影響により、北上川水系南沢川で増水し、津山町横山地域で一部冠水。大萱沢浄水場付近で土砂崩れが発生、接合井が流出し、緩速ろ過池に土砂が流入した。	10 月 8 日～9 日 大萱沢浄水場の取水停止処置を行い、接合井の配管を改良、緩速ろ過池の清掃を行った。 配水池内の水量で対応できたため、断水はなかった。	予備水源の整備や、浄水場付近の土砂崩れ予防策の検討。 (平成 26 年に予備水源整備)
平成 23 年 3 月 11 日	東日本大震災発生		
平成 23 年 9 月	北上水系迫川にてかび臭物質 (2MIB) 発生。	9 月 4 日～10 月 4 日 石越浄水場の取水停止処置を行い、保呂羽浄水場から受水し対応。	かび臭物質を処理することのできる施設の検討。 (平成 27 年に活性炭注入設備設置)
平成 24 年 10 月 1 日 ～	台風 17 号の影響により、北上川水系北上川と北上川水系迫川の濁度が上昇。	北上川原水濁度が手分析で 1,600 度を超える。 石越浄水場、迫川の水位、濁度上昇のため 10 月 1 日～11 月 21 日まで取水停止処置を行い、保呂羽浄水場から受水し対応。	石越浄水場の高濁度原水を処理することができる施設の検討。 (平成 25 年度に原水濁度計の追加、薬注設備改良により、原水濁度 200 度まで監視可能となる)
平成 25 年 2 月	岩手県花巻市の工場から北上川水系支流に、シアン流出事故が発生。	保呂羽浄水場の水質監視強化を行い対応。 (この流出事故による影響は確認できなかった。)	各関係機関との情報共有の強化 (上流域水道事業者との連絡体制を確認)
平成 25 年 7 月	ゲリラ豪雨により北上川水系迫川の濁度が上昇。	7 月 18 日～7 月 22 日 石越浄水場の取水停止処	平成 25 年度中に原水濁度計の追加、薬注設備改良によ

		置を行い、保呂羽浄水場から受水し対応。	り、原水濁度 200 度まで浄水可能となる
平成 25 年 8 月 10 日	8～9 日岩手県大雨（盛岡市降水量 125mm）に岩手県で河川への土砂崩れ（流入）、紫波町で北上川氾濫等の発生により北上川の濁度上昇（手分析で原水濁度 1545 度記録）	濁度上昇前に取水量を増やし、配水池水位を高くしておいた。 濁度上昇時のピークカット、もしくは取水量減・PAC 注入ポンプ 1 台を手動にて最大注入量で注入し、2 台目で調整（通常時は 1 台のみの運転）	
平成 26 年 5 月	降雨日数の減少により北上川水系大関川の水位が低下。この伏流水を水源としている錦織浄水場の井戸の水位が低下し、取水量の低下及び濁度が上昇。	5 月 19 日～5 月 24 日錦織浄水場の取水停止処置を行い、保呂羽浄水場から受水し対応。	予備水源の検討。 （平成 25 年に保呂羽浄水場からの連絡管を整備したため、連絡管で対応）
平成 26 年 9 月	北上川水系北上川にて、かび臭物質（ジェオスミン）発生。（原因は特定できなかったが、上流部にある田瀬ダムのアオコ発生が影響と考えられる）	9 月 10 日～10 月 20 日保呂羽浄水場に臨時の活性炭処理設備により対応。（基準値以内ではあったが、問い合わせが多かったために、防災無線等で広報実施）	かび臭物質を処理することのできる施設の検討。 （平成 26 年に保呂羽浄水場にソーダ灰注入設備を改造した活性炭注入設備を設置） （平成 29 年に下り松ポンプ場に活性炭注入設備の新設）
平成 26 年 10 月	台風 18 号・19 号により、大萱沢の湧水（濁度上昇）と、米谷浄水場の水源である地下水（色度上昇）が影響を受けた。	10 月 14 日大萱沢浄水場と米谷浄水場の取水停止処置を行い対応。 米谷浄水場では、保呂羽浄水場から受水し対応。 （いずれの浄水場も半日程度で水質が基準値内に復帰。）	予備水源や、高濁度原水を処理することができる施設の検討。 （平成 26 年に大萱沢浄水場で予備水源整備） （平成 25 年に保呂羽浄水場からの連絡管を整備したため、連絡管で対応）

平成 27 年 7 月	降雨日数の減少により北上川水系迫川の水量が低下し、取水不能。	7 月 14 日～7 月 28 日 石越浄水場の取水停止処置を行い、保呂羽浄水場から受水し対応。	ダムの放流量等、河川流量に関わる情報収集の強化。
平成 27 年 7 月	石越浄水場、浄水水質検査時に塩素酸が水質基準を逸脱。	8 月 1 日～8 月 11 日 石越浄水場の取水停止処置を行い、保呂羽浄水場から受水し対応。 (原因は 7 月の取水停止時に長期間高温が続いたため、薬品が劣化したと考えられる。)	薬品の管理及び貯蔵環境改善の検討。 (平成 28 年に薬品貯蔵室へ空調設備設置)
平成 27 年 9 月	台風 18 号の影響により、北上川水系迫川の濁度が上昇、旧細倉鉦山排水処理施設より排水が流出。	9 月 11 日～9 月 16 日 石越浄水場の取水停止処置を行い、保呂羽浄水場から受水し対応。 (9 月 14 日、臨時の水質検査時全ての基準値を満たしていることを確認。)	バイオアッセイ等の毒物監視装置の検討。 (平成 30 年に石越浄水場と大萱沢浄水場に監視カメラを利用したバイオアッセイ装置設置)
平成 27 年 10 月	北上水系迫川にて、かび臭物質 (2-MIB) 発生。	10 月 23 日～11 月 24 日 石越浄水場で活性炭処理設備により対応。	長期間のかび臭物質に対応するため、貯蔵槽の大型化の検討。
平成 28 年 4 月	石越浄水場にてカビ臭の疑いで取水停止。	4 月 21 日採水分 ジェオスミン 1.46 4 月 22 日 ジェオスミン 1.84 4 月 26 日 13 : 15 まで 石越浄水場の取水を停止し保呂羽水系に切換えし対応。	
平成 28 年 8 月	台風 7 号の影響により河川の濁度が上昇。	8 月 16 日 8 : 20～15 : 30 大萱沢浄水場 (最大濁度 100 度) で予備水源に切換え 8 月 17 日 10 : 32～17 : 00	

		合ノ木浄水場取水停止 8月17日11:02~16:20 大綱木浄水場取水停止	
平成28年 8月	台風10号の影響により河川の濁度が上昇。	8月30日15:00 ~31日9:50 大萱沢浄水場で水質悪化のため予備水源へ切換え 8月30日16:08 ~31日11:28 大綱木浄水場（原水濁度135度）で取水停止 8月31日11:15まで 米谷浄水場取水濁度が高く保呂羽水系に切換え	
平成29年 3月	水質情報（硫酸バンド漏）にて3月30日9:50頃、一関清掃センターにおいて硫酸バンド2,900リットルが漏洩との情報が入る	情報を受け現地調査を実施。 水質変化に注意し、監視を強化。	
平成29年 7月	秋田県～岩手県の記録的な大雨により、北上川の濁度が上昇。 7月23日~24日 保呂羽浄水場 最大濁度223.4度	異常なし（通常運転範囲）	
平成29年 8月	降雨の影響により、北上川の濁度が上昇。 8月25日~26日7:30 保呂羽浄水場 最大濁度340度	異常なし（通常運転範囲）	

平成 29 年 10 月	台風 23 号の影響により河川の濁度が上昇。	10 月 23 日～24 日 大萱沢浄水場では濁度が上昇したため予備水源へ切換えて対応。 米谷浄水場では色度上昇により保呂羽水系に切換えて対応。 石越浄水場では迫川の水位上昇により取水を停止し保呂羽水系に切換えし対応。	大萱沢浄水場の濁度上昇は上流の砂防ダム堆積土の流出によることが原因と判明し、取水口更正作業を実施。砂防ダム内の堆積物の増加が懸念される
平成 30 年 7 月～9 月	保呂羽浄水場給水栓のハロ酢酸が上昇	特に給水栓までの時間がかかる北方配水池系統、新田配水池系統の給水栓で基準値近い数値を計測 活性炭注入で対応	原水の水質悪化が原因か。 夏季、消毒副生成物のモニタリングの手法や上昇時の対応方法の検討
9 月	合ノ木浄水場・大綱木浄水場給水栓でもハロ酢酸が上昇	滞留時間を減らす目的で、配水池（浄水池）での滞留時間を短くするため、配水池等の運用水位を下げる	
平成 31 年 2 月 13 日 ～3 月 6 日	錦織浄水場、湯水により取水井水位低下により取水不可能に	保呂羽水系へ切換えて対応（膜ろ過更新工事のため、給水区域を狭くしていた）	
令和元年 10 月 12～ 13 日	台風 19 号による影響 市内各地で河川の堤防の決壊や氾濫による浸水、土砂崩れなどが多発	保呂羽浄水場原水濁度、最高 205 度（通常運転範囲） 大萱沢浄水場取水濁度上昇により予備水源へ切替えて対応 10 月 30 日取水口復旧作業を行い取水再開	

		<p>迫川水位上昇により石越浄水場を保呂羽水系へ切換えし対応</p> <p>10月15日河川水位下降により取水再開</p> <p>米谷浄水場原水水質悪化により保呂羽水系へ切換えし対応</p> <p>10月15日水質改善により取水再開</p>	
令和3年 1月4日	水質情報（岩手県金ヶ崎町の工場で、ジクロロメタン流出の可能性）	<p>原水、浄水、給水栓のジクロロメタン検査を実施</p> <p>～8日まで原水でのジクロロメタン検査を継続</p>	水質汚染事故対策マニュアルの検証と見直し
令和3年 1月10日	大巻取水口周辺が凍結したため、原水流入量減少により、取水停止	石越浄水場を保呂羽水系へ切換えて対応	
令和3年 3月20日	18時09分頃に発生した宮城県沖の地震で登米市震度5強を観測	<p>米谷浄水場、米川浄水場の原水濁度上昇</p> <p>原水を取水後、排水作業を行い、水質回復を待つ。その間は保呂羽水系へ切換えて対応</p>	地震対策マニュアルの検証と見直し
令和4年 3月16日	23時36分頃に発生した福島県沖の地震で登米市震度6強を観測	<p>米谷浄水場、米川浄水場の原水濁度上昇</p> <p>原水を取水後、排水作業を行い、水質回復を待つ。その間は保呂羽水系へ切換えて対応</p> <p>細倉鉱山鉱業より重金属を含む貯留水が流出との連絡を受け、石越浄水場を取水停止</p>	栗原市の対応状況や検査結果を確認の上、迫川の流速を参考にして逆算し、大巻取水場とそれより上流で採水した検体を測定し、確認

		米谷大橋歩道部で連絡管の漏水により、東和地区への保呂羽浄水場からの分水ができなくなる	後に取水を再開 東和方面への連絡管の通水を停止し、漏水箇所修繕。洗管し水質確認後に通水再開
--	--	--	--